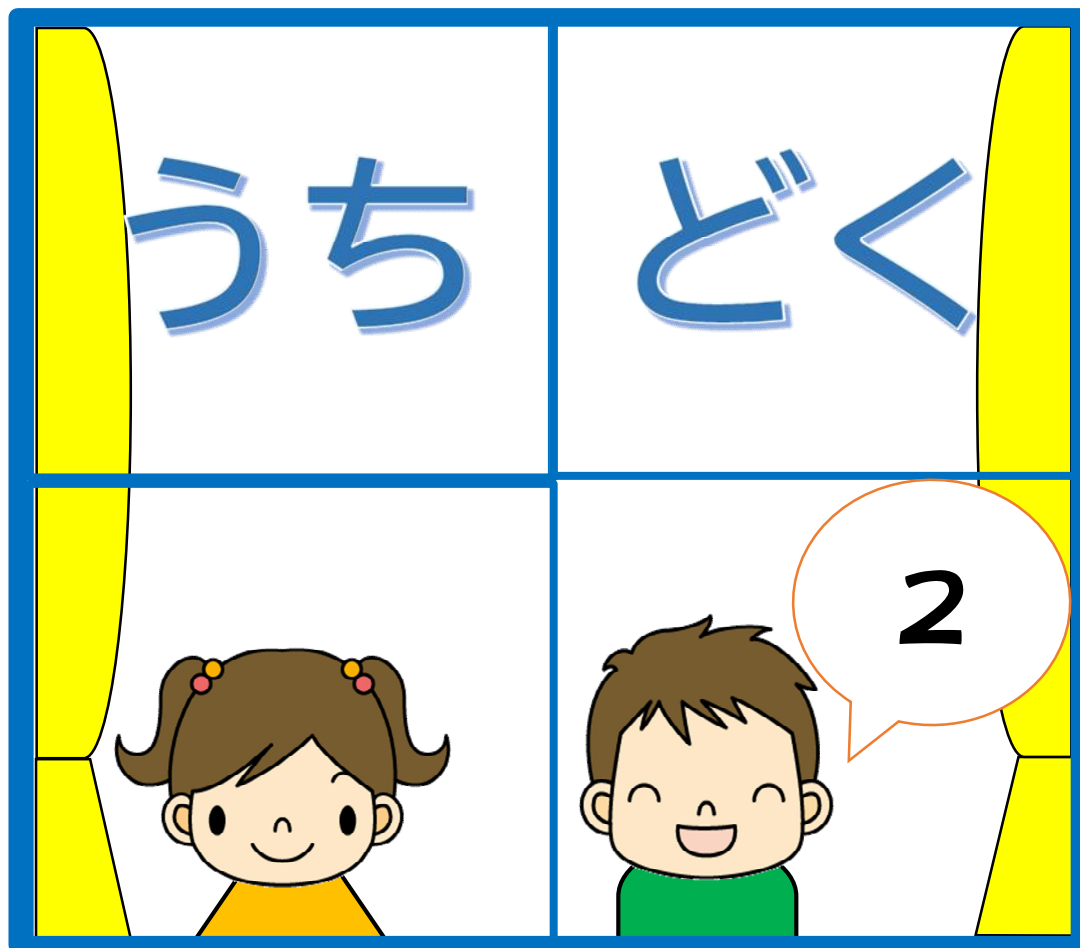


こどもたちが^{えら}選んだ^{か す か べ}春日部^{ほん}うちどく本リスト



^{しょうがくせい}
<小学生>

春日部市教育委員会

《令和7年3月 第2版》

＜ はじめに ＞

家庭での読書習慣の充実をめざして、春日部市では家読（うちどく）※プロジェクトを進めています。

この「こどもたちが選んだ春日部うちどく本リスト うちどく2」は、春日部市内の小・中・義務教育学校の児童・生徒にアンケートを実施して選んだ、「家族や友達に読んでほしい本」の推薦リストです。同年代のこどもたちがどんな本を読んでいる、どんな感想を持ったのか、紹介しています。

家読に、決まったルールはありません。同じ本を読んでもたり、一緒に本を読む時間を決めてみたり、読んだ本の感想を伝えあったり。それぞれの家庭にあった方法で、家庭での読書を楽しみましょう。

このブックリストが、そんな家庭での楽しい読書の時間の一助になることを願っています。

※家読（うちどく）…「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書運動

（凡例）

●掲載順は以下のとおりです

・絵本→画家名順 物語→作者名順 その他は図書館での分類順

●各事項について

①	《ジャンル》	書名	こどもたちの おすすめ コメント  司書職員からの おすすめ コメント 
著者名		出版者名	
本の 表紙画像	本の内容、あらすじ		

低学年（１・２ねんせい）

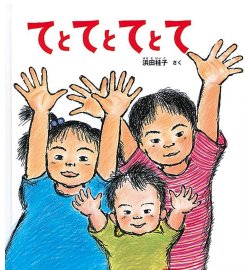
①	えほん	ラン パン パン	えが おもしろい ところが すきです
マギー・ダフ／再話 ホセ・アルエゴ、アリアンヌ・ドウィ／絵 山口文生／訳 評論社			
		むかしむかし、王さまにおくさんをさらわれたクロドリ。クロドリはかたな、たて、かぶと、たいこを持って、おくさんをとりにかえすたびにでました。たいこをたたいて「ランパンパン」。とちゅうで王さまにひどい目にあわされたネコ、アリ、木のえだ、川の水もなかまになり、ともにたたかいに向かいます。	

②	えほん	おすしやさんにいらっしやい！	さかなの なかみが みれて さばきかたが じょうずなのが すき
おかだだいすけ／文 遠藤宏／写真 岩崎書店			
		まないたの上に海で釣り上げられたいろいろなお魚がならんでいます。あかいお魚のキンメダイをかんさつしてみましよう。目はどうなっている？ 歯はあるかな？ かんさつがおわったら、包丁でさばきます。すめしにのせたら、おすしのできあがり！ おすしになるまえのお魚がかんさつできる写真絵本。	

③	えほん	アリのかぞく	はたらきアリが すのひっこしの しごとをする ところが おもしろいよ
島田拓／文 大島加奈子／絵 福音館書店			
		じょうおうアリが、たまごをうみました。たまごからかえたようちゅうがさなぎになり、まゆからでてくると、はたらきアリのたんじょうです。はたらきアリは、じょうおうアリがうむかぞくのせわをします。かぞくのために、えさをとったり、せまくなったすをひろげるのも、はたらきアリのしごとです。	

④	えほん	スタンリーとちいさな ^{かせいじん} 火星人	スタンリーが うちゅうに いったら かわりに かせいじんが きたところが おもしろい
サイモン・ジェームズ／作 千葉茂樹／訳 あすなろ書房			
		かあさんがとまりがけでしごとに出かけることになったので、スタンリーも、ちきゅうをはなれることにしました。ダンボールのうちゅうせんにのりこみ、かせいへむかいます。しばらくして、もどってきたうちゅうせんにのっていたのは、スタンリーにそっくりな、ちいさなかせいじんでした。	

⑤	えほん	なつのいちにち	
はたこうしろう／作		偕成社	
	あつい あつい なつのひ。ぼくは、ひとりでいえをでた。むぎわらぼうしをかぶって、むしとりあみをもち、げんじのたにまで、はしる。たんぼのあぜみちをぬけ、うしごやのまえはぜんそくりよくで。きょうこそ、ぜったいにつかまえるんだ。まってるよ！でっかいクワガタムシ。		くわがたが すきだから ぼうけん みたい

⑥	えほん	てとてとてとて	
浜田桂子／作		福音館書店	
	て。わたしたちのて。いろいろなことをすることができ る。ては、がっきになる。どうぐにもなる。とおくにいる ひとに、ことばをつたえることもできる。てでおしゃべり するひともいる。ゆびでじをよむひともいる。		しゅじんこうと ともだちが てをつなぐ ところがすき

⑦	ものがたり	エルマーのぼうけん	
ルース・スタイルス・ガネット／作 わたなべしげお／訳		福音館書店	
	エルマーは、としとったのらねこから、りゅうの子^こども のはなしをききました。そのりゅうは、どうぶつ島^{しま}という ところにいて、なまけもののどうぶつたち^{かわ}を川のはんたい がわに運^{はこ}ぶためにつかまっている、ということです。エルマ ーは、かわいそうなりゅうをたすけにいくことにしまし た。		さいごに りゅうが ぶじに たすけられて よかった

⑧	ものがたり	ぞうのたまごのたまごやき	
寺村輝夫／作		理論社	
	たまごやきが^{だい}大^{おう}きな王^ひさま。ある日、赤^{あか}ちゃんが^う生ま れたおい^{くに}わいに、国^{ひと}じゅうの人^{ひと}をあつめて「たまごやき」 をごちそうするときめました。でも、たまごがたりません。 ^{おう}王^{おう}さまが、それなら「ぞうのたまご」をもって^へくれ^みばいい、 とい^でったので、兵隊^{へいたい}たちは「ぞうのたまご」を見^みつけに出^で かけます。		わがまな 王^{おう}さまが、 びっくりする ようなことを つぎつぎ しちゃうよ

⑨	ものがたり	ロボット・カミイ	いばりんぼの カミイは ようちえんで どんなふう に すごすかな？
古田足日／作		福音館書店	
	たけしとようこは、ダンボールのはこでロボットをつくりました。かみのはこでつくったから、なまえはロボット・カミイです。ようこがはなしかけると、カミイはへんじをして、はしりだし、そとへとびだしました。たけしとようこは、いばりんぼのカミイを、ようちえんへつれていくことにします。		

⑩	ものがたり	けんかのたね		けんかの りゆうが それぞれ あって、 さいごにも びっくり！ 
ラッセル・ホーバン／作 小宮由／訳		岩波書店		
	ある^ひ日、ねこといぬ、4にんのこどもたちが大げんか。 お父さんがわけをきくと、姉^{あね}のドラがおこったのは、弟^{おとうと}のフランクがかみをひっぱったから。でもフランクがそうしたのは、ドラがフランクのもけいのうえにすわったから。ドラがそうしたのは、妹^{いもうと}のエミリーのせいで、エミリーにも、りゆうがありました。			

⑪	ものがたり	かあさんのしっぽっぽ	かあさんと とうさんが はたらいて いるから お手つだいす るのがたいへん とおもった
村中李衣／作		B L 出版	
	結衣の家は和菓子屋の「はごろも堂」です。結衣は毎日いそがしいかあさんのてつだいをしていますが、しっかりやらないと、かあさんはこわい顔をするのです。ある日、キツネにのみこまれた母の昔話をよんだ結衣は、かあさんもキツネにのみこまれたのではと思いつきます。すると、おこり顔のかあさんが、キツネに見えてきました。		

⑫	ものがたり	ふたりはともだち	「すいえい」のはなしがすき。 がまくんが「へんだからみるな!」というから
アーノルド・ローベル／作 三木卓／訳		文化出版局	
	はるがきたので、かえるくんは、がまがえるくんをおこしにいきました。ところが、がまくんは、まだベッドにねています。5がつになったらおこしてくれというのは。がまくんをおこしたいかえるくんは、カレンダーをみて、いいことをおもいつきました。（「はるがきた」）がまくんとかえるくんのおはなしが5つ。		

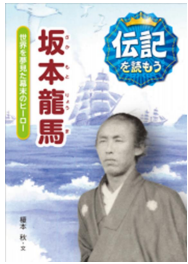
#

⑤	物語	ルドルフとイッパイアッテナ	少しリアルで、 場面を想像 すると おもしろい
斉藤洋／作		講談社	
		黒ねこのルドルフは、魚屋さんに追いかけてにげこんだトラックで、東京にきてしまいました。そこであったのは、大きなトラねこのイッパイアッテナ。イッパイアッテナは、ごちそうしてやるっていう、いろいろな場所につれていってくれます。ルドルフは、ノラねこととしての生き方を、イッパイアッテナから学んでいきました。	

⑥	物語	うちゅう 宇宙からきたかんづめ	かんづめの中に 宇宙人が いてびっくり！ 語られる話も クスッと笑える
佐藤さとる／作		ゴブリン書房	
		ぼくはスーパーマーケットで、声が聞こえるふしぎなかんづめを見つけました。このかんづめに入っている何者かは、遠い宇宙のはてからやってきて、地球を調べているのです。そして、ときどき、かんづめはぼくに、調査中にあったという思いがけない話をきかせてくれるのでした。	

⑦	物語	ポリーとはらぺこオオカミ	「赤ずきん」や 「ジャックと豆の 木」をまねして ポリーをたべよ うとするオオカミ のおはなしも あります
キャサリン・ストー／作 掛川恭子／訳		岩波書店	
		ある日、ポリーが、げんかんのドアをあけると、大きな黒いオオカミが立っていました。ポリーを食べにきたのです。ところがオオカミは台所のにおいにつられて、おいしいパイを三つも食べておなかがいっぱい。ポリーを食べずに帰っていきました。そして一週間後、またオオカミがやってきて……。 (「かしこいポリーとおばかさんのオオカミ」)	

⑧	物語	菜の子ちゃんと龍の子	ふしぎな 転校生の 菜の子ちゃ ん。シリーズも ありますよ
富安陽子／作		福音館書店	
		ある日いきなり学校に現れた、転校生の菜の子ちゃん。トキ子は菜の子ちゃんから「お祭りの夜、空にのぼれなくなった龍の子を助けるのをてつだってほしい。」とたのまれました。その龍の子は、体が大きくなりすぎて、空にのぼるための「龍の口」に行けないのです。トキ子は、菜の子ちゃんといっしょにまつ暗なキャンプ場の先に行き、川の淵に一匹の龍の子を見つけました。	

⑨	伝記	でんき よ 伝記を読もう 1 さかもとりょうま 坂本龍馬	勉強になる し面白い
榎本秋／文		あかね書房	
		さかもとりょうま え ど じ だ い お 坂本龍馬は江戸時代の終わりごろに活躍した人物です。 りょうま に ほん 龍馬は、日本ではじめて商品の取り引きを仕事とする しょうしゃ 「商社」をつくり、その後もにくみあっている薩摩藩と ちようしゅうはん わかい 長州藩を和解させるなど、日本の歴史に大きなえいきよ うをあたえました。坂本龍馬とは、どのような人物だった のでしょうか。	 いろんな人の 伝記がすいせ んされました

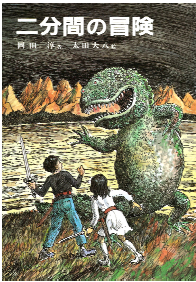
⑩	鳥	とり す 鳥の巣いろいろ	いろいろな 鳥の巣の絵が できます
鈴木まもる／作・絵		偕成社	
		とり 鳥は、たまごをうむときに巣をつくります。鳥の巣のざ いりようは、かれ葉だけではありません。コケでつくる鳥 もいれば、つちをかためてつくる鳥もいます。かたちもい ろいろ。おちゃわんのようなかたちや、よこやたてになが いかたちもあります。鳥はなぜ、いろいろな巣をつくるの のでしょうか。	

⑪	食べもの	ほ 干したから・・・	干した後の かたちが おもしろいので みてほしい
森枝卓士／写真・文		フレーベル館	
		に ほん 日本だけでなく、世界中に干した食べものがあります。 だいこん トマトや大根、りんごやぶどう。野菜やくだものだけでな く、さかな にく ほ 魚や肉を干したのものもあります。干さなくても食べら れるのに、どうして、食べものを干すのでしょうか。干し たらなに か 何が変わるのでしょうか。	

⑫	食べもの	だいこん 大根はエライ	いろいろな 大根料理が 書いてあって おすすめです
久住昌之／文・絵		福音館書店	
		「大きな根っこ」と書いて大根。あんまりエラそうには おもえないけど、だいこん 大根はすごいです。だいこん 大根おろしや大根サ ラダのように生で食べても、おでんのように煮て食べて も、あ 合わせる相手の味を引き立てたり、やわらげたりして、 いっしょにおいしくなるのです。だいこん 大根は、料理だけでなく、 けんこう やく だ 健康に役立ったり、季節の風習になったりしています。	

高学年（5・6年生）

①	物語	モモ	モモのともだちが灰色の男たちの登場でなにをされるかハラハラします
ミヒャエル・エンデ／作 大島かおり／訳		岩波書店	
	ある大都会のかたすみに、モモという女の子がいました。あるとき、大人たちから時間を盗む灰色の男たちが現れました。時間を盗まれた大人たちはイライラと怒りっぽくなり、こどもにかまう時間もなくなっていました。モモは、変わってしまった大人のために、なにができるかと考えます。		

②	物語	二分間の冒険	本当に冒険するところがおもしろい
岡田淳／作		偕成社	
	6年生の悟は、拾ったとげ抜きを保健室に届けに行く途中、黒ネコの「ダレカ」に「足のとげを抜いてほしい」と話しかけられました。悟が言うとおりにすると、ダレカはお礼に願い事をかなえてやる、と言います。悟が「時間がほしい」と言うと、不思議な世界へに連れていかれ、そこで、ダレカを探すゲームをすることになりました。		

③	物語	かはたれ	河童の姿をみられてピンチ! どうやってのりこえるのか読みどころ
朽木祥／作		福音館書店	
	人間でいえば8歳くらいのこどもの河童「八寸」は、浅沼でたった一人で暮らしていました。あるとき、八寸は、河童の長老に呼び出されました。これからは、浅沼の近くがますます開発されるので、人間から身を隠すため、猫の姿で人間について学ぶ修行に出かけてはどうかと言われたのです。		

④	物語	ふたりのロッテ	ふたりが知恵をしばって両親のところに帰るところが好き
エーリッヒ・ケストナー／作 池田香代子／訳		岩波書店	
	女の子たちが、夏の休暇を過ごすため、湖のほとりの林間学校に集まっていた。その中の一人ルイーゼは、自分とは別の町から来たロッテをみておどろきます。なぜなら、ロッテはルイーゼとうりふたつだったからです。やがて二人は家族についての秘密に気づき、ある計画を実行することにしたのです。		

⑤	物語	しらこまき げんぺい かぜ 白狐魔記 源平の風	人に化けられるようになった狐が、歴史上の有名人物と交流します。 シリーズ全7巻
斉藤洋／作		偕成社	
		人間のことを知りたいと思った一匹のきつねが、白駒山の仙人のもとで修行をして、一年後には人間に化身する技を身につけました。仙人に「白狐魔丸」と名付けてもらったきつねが再び里にお下りする途中に出会ったのは、以前平家の武士から命を救ってくれた源義経でした。	



⑥	物語	なつ シャイローがきた夏	とにかくビーグル犬のシャイローがかわいい！
フィリス・レイノルズ・ネイラー／作 さくまゆみこ／訳 あすなろ書房			
		ある日曜日、マーティは一匹のビーグル犬に出会いました。その犬はやせておびえていて、マーティのあとをついてきます。犬の飼い主は嫌われ者のジャドでした。マーティは犬に「シャイロー」と名前をつけ、家族にもないしよで、ジャドから守ろうとするのですが……。	



⑦	物語	ねが にっき 願いがかなうふしぎな日記	日記にしたいことを書いたらできたところにびっくりした
本田有明／作		PHP研究所	
		光平が自分の部屋のそうじをしていると、亡くなったおばあちゃんからプレゼントされた絵日記のノートが出てきました。もらった時は使う気持ちになれなかったのに、ノートを捨てられなくなった光平は、おばあちゃんに「望みはこれに書くとかなう」と言われたのを思い出しました。そこで「もう一度おばあちゃんに会いたい」と書いてみると……。	

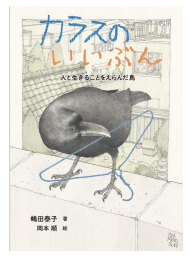


⑧	物語	ぼくたちのいばしょ	多国籍の子と、いろいろな事件でつながって友達になる
蒔田浩平／作		文研出版	
		春馬と秀則がやっている新聞委員に、ネパールからの転校生、サラダが加わりました。しかし、日本語が分からないサラダには、うまく気持ちを伝えることができません。そこで二人は、ある「修行」を思いつきました。それは、1日5個、お互いの言葉を覚える、というものでした。	



⑨	物語	パンプキン！	仲の悪い いとこの ふたりが だんだん 仲良くなって いくのがいい
令丈ヒロ子／作		講談社	
	夏休み、ヒロカのいとこのたくみが、近くに住むおじいちゃんの家^{いえ}にやってきました。たくみは、ヒロカの町^{まち}に落とされた模擬原爆「パンプキン爆弾^{ばくだん}」のことを調べているといいます。戦争^{せんそう}のことや、パンプキン爆弾^{ばくだん}のことを知らなかったヒロカは、自由研究^{じゆうけんきゅう}で調べてみることにしました。		

⑩	法律	こども六法 第2版	法律が 理解できて いじめや 窃盗 ^{せつとう} の怖さが よくわかる
山崎 聡一郎／著		弘文堂	
	法律^{ほうりつ}は、私^{わたし}たちの安心^{あんしん}で安全な生活^{あんぜん}を守るために決められたルールです。例えば民法^{みんぽう}には、人^{ひと}と人^{ひと}との約束^{やくそく}や関係^{かんけい}についての「あたりまえ」のルールが書かれていて、「他人^{たにん}のものを壊^{こわ}したら、弁償^{べんしょう}しなくてははいけない」ということも、法律^{ほうりつ}で決められているのです。こどもたちが知^しっておいたほうが良い法律^{よ ほうりつ}を選んで紹介^{しょうかい}しています。		

⑪	鳥	カラスのいいぶん	カラスは きられもの、 という その考えが 変わりました
嶋田泰子／著		童心社	
	カラスは、いちばん身近な鳥^{みちか とり}ですが、きらいな人^{ひと}が多いかもしれません。きらいな理由^{りゆう}としては、大きくてこわい、黒くてぶきみ、ごみの収集日^{しゅうしゅうび}などにゴミ袋^{ぶくろ}をあさる、人^{ひと}をおそう、などがあります。この本^{ほん}は、カラスにイヤな思^{おも}いをした作者^{さくしや}が、カラスのよわみをにぎろうとして調べたカラスの本^{ほん}です。		

⑫	スポーツ	とどけ！ボール つながれ！ぼくらの言葉	耳が聞こえな い人のことが よくわかった
村上晃一／著		あかね書房	
	ラグビー選手^{せんしゅ}の大塚貴之^{おおつか たかゆき}さんは、生まれつき耳^{みみ}が聞こえませんが、それでも、小学校^{しょうがっこう}から大学^{だいがく}まで、耳^{みみ}の聞こえる人^{ひと}たちといっしょにプレーしてきました。貴之^{たかゆき}さんは、ラグビー^{ラグビー}の経験^{けいけん}を通じて、健康者^{けんじやうしや}と障がい者^{しょうがいしや}が平等^{びやうどう}に機会^{きかい}を与えられる世の中^{よ なか}になってほしいと願^{ねが}い、ラグビーを広^{ひろ}げる活動^{かつどう}を続^{つづ}けています。		